

光都周辺の野生動物観察

光都周辺に生息する野生動物を
トレイルカメラで撮影し
種類を調べて比較する

兵庫県立大学付属高等学校

第2学年 岸本結月 原田陽南乃

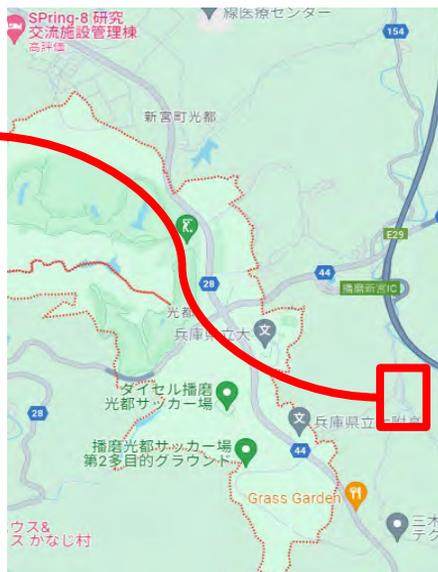
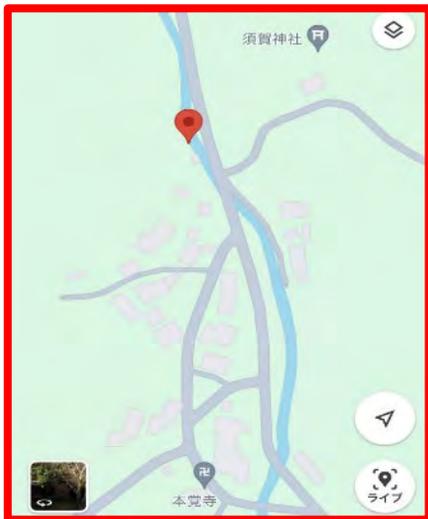
トレイルカメラの設置場所



光都の附属高校から山を下って行った集落の北側

山側(地図の左側)と道路側をつなぐ橋があり、その周辺を撮影するように山側の木にカメラを括りつけて撮影した

図の上側が北で小川の下流側になる



撮影例

道路方面



田んぼ方面

山側 画面の下は小川



住宅
・
畑方面

昼間の同じ位置での写真

昼間はカラーで撮影できるが、
夜間は白黒になる。

キツネ

食肉目イヌ科 体長約60cm

本州・九州・四国・淡路島にホンドギツネが生息

耳が立っていて動きが比較的軽快に見える
尾の先が白く、長くてふさふさしている

生態

ホンドギツネは群れを形成する

聴覚が非常に発達しており、鳴き声を使って群れでのコミュニケーションをとることができる

肉食性に近い雑食性

穴を掘って餌を埋める



ハクビシン

- ・ネコ目ジャコウネコ科 体長60cm前後 (尾の長さ40cm)
- ・鼻から額に向かって白い線が伸びている
- ・尾が長く体の長さと同様

生態

- ・夜行性で木登りが得意 バランス感覚に長けている
- ・雑食性で果物や野菜等の農作物、小動物、昆虫、鳥類やその卵を食べる好物は果物
- ・南方系の動物



タヌキ

イヌ科タヌキ属 全長70~80cm
本州以南に生息するホンダヌキは日本固有種

前足から肩にかけての黒い帯と短いしっぽが特徴

耳はやや丸く目の周りに黒いマスクがある

生態

夜行性で人家周辺まで餌を探しに来る

自分では穴を掘らず、アナグマの古巣や樹洞などを巣として利用する

雑食性で果実や昆虫、それ以外には生ゴミも食べる



<https://tanukiwalker.blog.jp/archives/tanukinosippo.html>

アナグマ

イタチ科アナグマ属 全長44~68cm
日本の本州、四国、九州、伊豆島に生息

ずんぐりとした体型

耳が小さくて丸く、耳の先が白い。
目の周りが黒

生態

内部に部屋がいくつもある大規模な巣を
掘って、越冬や子育てをする

雑食

11月下旬から4月中旬まで冬眠するが
地域によっては冬眠しないこともある



アライグマ

食肉目アライグマ科アライグマ属
体長70～90cm

しっぽが縞模様、足が白っぽい

北アメリカ原産地の野生動物だが、ペットとして日本に輸入された後、天敵がおらず、自然繁殖し増加
特定外来生物

生態

雑食

木登りが得意であらゆるところから侵入する

一夫多妻、休眠により越冬



イタチ

イタチ科イタチ属 体長30~40cm

胴体が細長い 小さい穴や隙間を通り抜けるような骨格

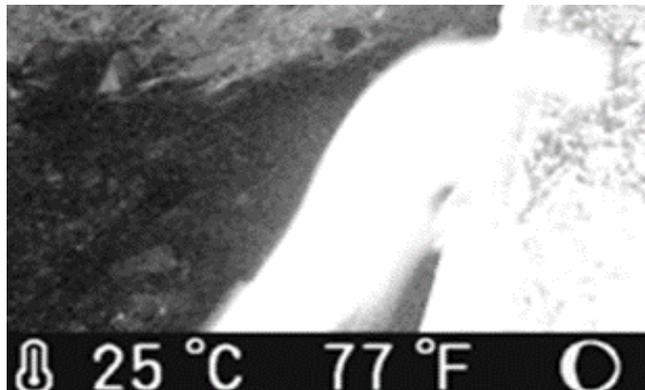
尾が長め

生態

肉類を好む雑食

1日に食べる量が体重の40%

性格は気性が荒く攻撃的



シカ



鯨偶蹄目シカ科
体長130~180cm

オスは角を持っていて毎年
生え変わる

一度に最大で9匹出てきた

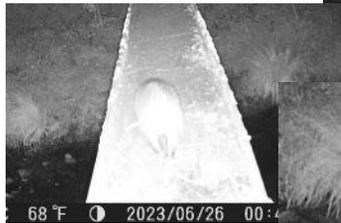
生態

食性は草食で地方によって
好む食物に差がある

跳躍力が優れている



写真から判別が出来なかったもの



光って、色の濃淡や体型が分からない

しっぽだけなど体の一部しか映っていない

遠くにいて、小さくて見えない

結果

今回の観察で見られたのは7種

動物名	出現頭数
タヌキ	4
シカ	133
ハクビシン	12
アナグマ	8
キツネ	11
イタチ	6
アライグマ	4

シカは一度に出てくる頭数も多かった
一度に5匹以上出てくることも多く、
シカ同士でけんかのような取っ組み合
いをしていることもあった

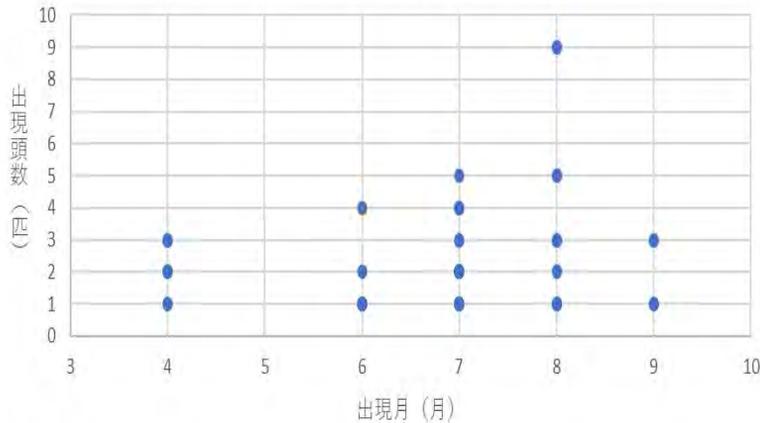
アライグマは一度だけ3匹同時に出て
きた。体長が小さいものも混ざってい
て家族のようだった

動画の撮影が開始された直後に山側に
引き返す動物が多かった

山側から道路側に渡った動物は、写真
では右側にあたる、住宅・畑方面に向
かうことが多かった

考察 シカ

シカの出現頭数と出現月



7月後半から8月前半にかけて子鹿を呼ぶときのメスの鳴き声がした



子育てをされていて
7月、8月の出現頭数が増えた

考察

- ・ 動画の撮影が開始された直後に山側に引き返す動物が多かった
→トレイルカメラからなんらかの光(赤外線等)がでており、動物は敏感なので察知して戻ってしまったのではないか
 - ・ 山側から道路側に渡った動物は住宅・畑方面に向かうことが多かった
→雑食性なので、畑に実った作物を食べようとして、畑や住宅地の庭に侵入するためではないか。また田んぼは、ネットや柵が頑丈に張っており、侵入することが難しいからではないか
- 今回撮影された動物は日本全国で害獣として、捕獲方法や被害、その対策が多くネットに載っていた

引用

キツネってどんな動物？ : <https://er-animal.jp/pepy/29582#i>

イタチの特徴について :

<https://kujoservice.com/%E3%82%A4%E3%82%BF%E3%83%81%E3%81%AE%E7%89%B9%E5%BE%B4%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/>

一般財団法人奈良の鹿愛護会 行動・生態 : <https://naradeer.com/learning/ecology.html>

シカの特徴 : <https://www.kwn.ne.jp/knowledge/shika.html>

屋根裏の害獣ハクビシンの被害・対策・駆除 :

https://www.city.moka.lg.jp/kakuka/nosei/gyomu/kankyo_pet/gaiju_gaichu/1/2370.html

タヌキの生態と対策について 長崎県農林部

<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2014/01/1389920991.pdf>

アナグマの特徴と対策について : <https://inohoi.com/blogs/knowledge/post-1643>

アナグマ、タヌキ、ハクビシンの見分け方 : <https://www.sharing-tech.co.jp/araiguma-tanuki-hakubishin/>